

『氷点』事件と歴史教科書問題

— 日本人学者が読み解く中国の歴史論争 —

東京外国語大学教授 佐藤公彦 著

日本橋報社 ISBN 978-4-86185-052-3



【著者紹介】

佐藤公彦（さとうきみひこ）1949年、福島県生まれ、一橋大学大学院社会学部研究科博士課程修了。1985年から東京外国語大学外国語学部勤務、95年教授、海外事情研究所所長を歴任。社会学博士。専門は中国近代史、歴史学、近代東アジア国際関係史。大学院時代より、義和団事件を研究、1980年の「義和団運動史国際討論会」（於山東済南）、90年の国際討論会、2000年の討論会の三度の義和団国際シンポジウムに出席し、発表。1986年から1990年にかけて、日中学者の共同調査団で義和団に関係する華北農村社会の調査に従事、調査成果は『近代中国の社会と民衆文化』（東方書店、1992）として公表。2002-03年、「北京日本学研究中心」主任教授。

昨年、日本の新聞紙上や論壇をにぎわした「氷点」事件。袁偉時論文にはじまるこの論争の顛末を、その経緯だけでなく、日中双方の歴史観、言論の問題点、さらには実際の歴史学研究における成果を織り交ぜながら、批判的に検討したのが本書である。

著者の佐藤公彦は「義和団の起源とその運動—中国民衆ナショナリズムの誕生」（研文出版、一九九九年）で知られる、世界有数の義和団研究者。

本書の構成は、まず「氷点」停刊と中国における歴史教科書問題、その経緯、論争、批評の三面から述べ、次にこの歴史教科書論争で取り上げられた論点、実際の中国近代史研究においていかに位置づけられるかということ、第二次アヘン戦争、義和団事件など

沈黙を守ってきた歴史研究者が議論に加わる



『氷点』事件と歴史教科書問題

佐藤公彦著

日本橋報社 ● 2006年3月発行
● 300頁 ● 2625円（定価）

どの具体的事象を挙げつつ述べている。

佐藤は、この論争の本質を、「昔からなされてきた、中国は『全盤西化』に全面西洋化すべきか、それとも『国粹』を保つべきか、という議論に収斂する」と喝破し、「袁偉時の今回の歴史教科書批判は、

歴史的に見ると、天安門事件以来の国際的孤立の中で、共産党総書記・江沢民によって国内引き締めのために推進された愛国主義教育的な近現代史のもたらした文革的な民族主義情緒の危険性を感じた西欧近代主義者（＝袁教授、評者注）が、その偏狭さに対して警鐘

を鳴らしたものだ」とする。卓見だろう。

評者が本書に特に注目するのは、歴史をめぐる論壇やメディアでの（ほとんどが非専門家によりなされる）議論に対して沈黙を守ってきた、専門家である歴史研究者が、敢えて文体を崩しながら、専門的な見地から情報を発信し、議論に加わりうとする姿勢である。

中国では、三月の新学期から、全国の大学の新生に思想教育の一環として中国近現代史の学習を課した。一律に教科書が配布され、大学の教員はその教科書に即して授業することが求められている。歴史教科書問題は、東アジアの国際問題であると同時に国内問題化している。この点でも、本書は示唆に富む。

87 | 2007-5 GAIKO FORUM

(2007.5)

外交フォーラム

ご注文は、日本橋報社 e-shop（中国研究書店）をご利用いただくか、またはこのチラシを書店にご提示ください。（トーハン 日販 その他 取次コード：5752）

 おかげさまで 20周年 since 1996	『氷点』事件と歴史教科書問題 ISBN 978-4-86185-052-3 発行日：2007年3月28日 A5判 238頁 並製 定価：本体 2500円 + 税 日本橋報社 e-shop http://duan.jp 送信 FAX 03-5956-2809	注文部数 部（送料無料）	ご注文 / 番線印 ご注文の方は、注文部数、住所、氏名、電話番号をご記入ください
---	---	----------------------------	---

発行元：日本橋報社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-17-15 Tel: 03-5956-2808 Fax: 03-5956-2809 info@duan.jp <http://jp.duan.jp>

●三菱東京UFJ銀行 池袋西口支店（普）5271402 カ）ニホンキョウホウ

●郵便振替口座番号 00140-3-583886

※振込手数料はお客様負担をお願いします